

## 【様式1】

## 令和5年度 授業改善推進プラン

## 東久留米市立小山小学校 第3学年

教科	学力に関する各調査に基づく児童の学習状況分析 (数値等で具体的に示す)	具体的な授業改善策及び目標値 (数値等で具体的に示す)
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和4年度「学力定着度調査」において、「事柄や順序を考えて書く・推敲する」「文や文章を正しく書く」「漢字の書き」の内容が、全国に比べて得点率が低くなっている。</li> <li>学年の実態として、物語文が好きな児童は多く、想像を膨らませて自由に考えを書くことは得意な児童が多い。</li> <li>説明文の単元学習で「文の構成を捉える」「順序立てて書く」ことに対して課題が見られる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「漢字の書き」の課題には、宿題での書き方の工夫の提示や、家庭学習で定期的に取り組めるよう促すことで、8割程度の児童が習った漢字をしっかりと書けるようにする。</li> <li>「文や文章を正しく書く」課題には、話し言葉や書き言葉を改めて指導したり、疑問詞に対してどう答えたらよいかを学習の中で繰り返し指導したりすることで改善を図っていく。</li> <li>「順序立てて書く」課題には、「書くこと」の単元学習で、ポイントを押さえた見本の書き方を伝えた上で、児童同士書いたものを積極的に交流する場を設ける。多くの文章に触れることで、書き方の要点をつかむことにもつながるよう、改善を図っていく。</li> </ul>
算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和4年度「学力定着度調査」において、「たし算と引き算」の単元で、2位数や3位数の筆算を正しく計算することや「三角形や四角形」の単元で、図形を回したり組み合わせたりして考えることに課題が見られる。</li> <li>学年の実態として、どの単元においても意欲的に取り組む児童が多く、特に計算問題に関しては約6割の児童が進んでプリントに挑戦する様子も見られている。しかし、単元テストの結果、時刻や時間・図形の単元において、課題や苦手意識がある様子が見られる児童は約3割である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>可能な限り具体物を用意し、分かりやすい説明を行っていく。計算問題では、速く問題を解くことを意識してケアレスミスが多い傾向も見られているため、ゆっくり丁寧に問題を解くように声掛けを行っていく。その結果として、かけ算テストの計算問題で正解率80%をめざしていく。</li> <li>分からないことを周りに発信することができるように、教え合いの場を設けたり、分からないことは素直に伝えてよいということや伝え続けたりしていく。授業の時間や宿題を通して、繰り返し問題を解く習慣を身につけ、約8割の児童が自信をもって問題を解けるようにしていく。</li> </ul>
理科	<ul style="list-style-type: none"> <li>問題を捉え、そこから予想を立て、実験をして記録を付けていくことは9割程度の児童が自分の力でできている。しかし、出た結果を基に、気付いたことや分かったことを言葉で表現することに課題が見られる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>実験した後、まとめの時間をしっかり確保し、自分の考えや気付きを書けるようにする。また、「振り返りキーワード」等を黒板に掲示し、押さえるべきポイントを落とさないよう工夫する。単元によっては、「まとめ」や「考察」の書き方の模範を教員が示し、段階的に表現の仕方を知り、活用できるよう促す。</li> </ul>
特別の 道徳 教科	<ul style="list-style-type: none"> <li>「誠実」「善悪の判断」「公正・公平」等の道徳教材の話を通じて、登場人物の気持ちを想像したり、出来事を多面的・多角的に捉えたりすることはできる。しかし、教材を通して考えたことや学んだことを、生活の中で生かしていこうとする意欲をもつことに課題が見られる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1単位時間の授業の中で、「自己の生き方についての考えを深める」時間を多めにとり、一人一人が時間をかけて考えられるようにする。また、自己の考えを深めていくために、ペアやグループ等で互いの考えを積極的に交流できる機会を設ける。その過程で思考を段階的に深めていけるようにしていく。</li> </ul>